

癒やしの力 緑の活用を

北淡町野島常盤の県立淡路景観園芸学校（熊谷洋一校長）で13日、「花とみどりのまちづくりフォーラム2003」が開かれた。県内で花と緑を育てたり環境改善活動をしたりしている人ら450人が参加。日頃の活動や取り組みを報告し、意見を交換した。

街づくりグループの展示

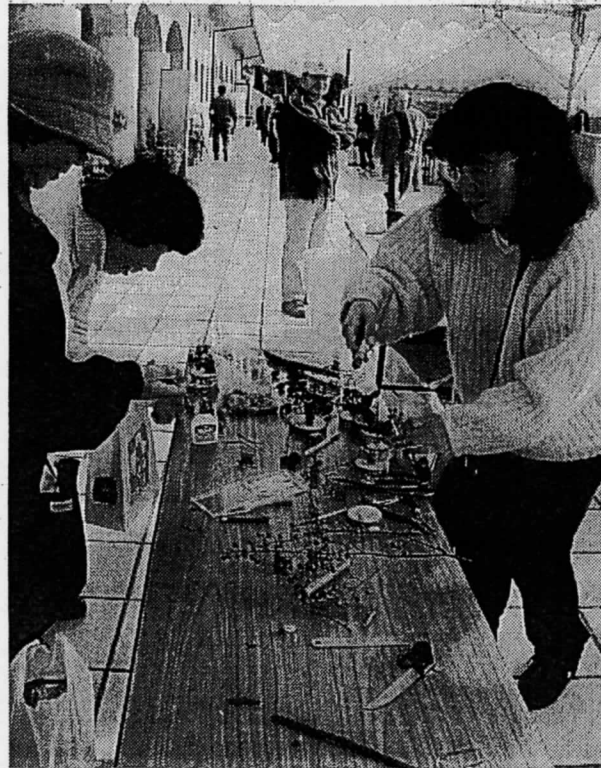
県や同学校、県園芸・公園協会、市民団体などが初めて実行委員会をつくり開催した。阪神・淡路大震災を契機に、花と緑の人を癒やす力が見直され、花と緑で街づくりをしようというグループが数多くできた。これらグループや個人の交流、情報交換、ネットワークづくりの場になればという狙いがある。

会場には、各グループの

450人が交流

展示が並べられ、簡単な盆栽の仕立て方を教えるコーナー、木の実を使う飾り作り教室、花木の即売もあったにぎわった。フォーラムは、気軽に始める緑化▽園芸技術▽オープンガーデン▽ビオトープ・環境学習といった九つの分科会で話し合った。まとめの全体会では分科会の内容を報告しあい、緑の活用について発信していくことを宣言した。

情報交換でネットワーク



木の実で飾りを作る女性ら＝北淡町の淡路景観園芸学校で

淡路景観園芸学校でフォーラム

平成15年12月14日(日)
朝日新聞 朝・夕
34頁 淡路版

平成15年12月14日(日)
神戸新聞 朝・夕
28頁 淡路版

淡路景観園芸学校

緑でいよしの まちづくり

フォーラムに450人

阪神・淡路大震災をきっかけに見直された草花によるいよしを、復興の

まちづくりにとり役立てるかをテーマにした「花とみどりのまちづくりフォーラム2003」（同実行委員会主催）が13日、北淡町野島常盤の県立淡路景観園芸学校で開かれた。

今年で五回目。震災九

周年事業として、県や神戸市公園緑化協会など十二団体で実行委員会を構成。県内から、緑化に取り組む住民グループと、関心がある個人の計約四百五十人が参加した。

写真パネル展示やミニ講習会などで互いの活動を紹介しあった後、「人の輪づくり」「植物と生活文化」「環境学習」など九つの分科会があった。今後の活動に生かす情報発信に力を入れていくという。

実行委事務局 ☎ 079 9・82・3131（景観園芸学校内）